

このコーナーでは、福島市に立地しているものづくり企業の知られざる魅力にスポットをあて紹介します。

今回は「株式会社モリヨシ技研」さんです。

FUKUSHIMAものづくり 企業ファイル(No.15)



▲NCフライス盤による金属加工

お客様とのニーズに的確に応え、ご満足いただくことを経営理念に置き、社員一丸となって知恵と工夫を凝らし、社会貢献できる企業を目指しています。

業務内容は、プラスチック金型の設計・製作と金型の修理などを手掛けています。

近年問題となっている、地球環境の保全に対応するため、廃棄金型のリサイクルや廃材の再利用にも注力しています。

「変化には変化で挑戦し、挑戦を続けよう」をスローガンに、これからも新分野や未知の領域に強い開拓者精神をもって、ものづくりに徹します。

より良き成果を求めて
地域と共に



株式会社モリヨシ技研



▲ホームページはこちら

【会社概要】

所在地：福島市松川町下川崎

代表者：代表取締役 笹原 徳明

設立：平成8年4月

資本金：3千万円

社員数：27人

主力事業：金型の設計・製作、
プラスチック成形

連絡先：☎567-4775

■問／商工業振興課
☎525-3721

クローズアップ

環境に優しいMOMIGARAトレイ誕生！

地域のお米から生まれた天然の主原料「もみ殻」と地場の加工技術によりエコな新製品が誕生しました。

「もみ殻」は土の中で自然に分解されるだけでなく、焼却しても有毒ガスが出ない地球に優しい材料です。



▲MOMIGARAトレイ

生活用品の主役であったプラスチックは、今大きな環境問題となっています。

このエコな製品や材料からプラスチックごみの削減に貢献したいです。



インタビューに答える
モリヨシ技研 代表取締役
インタビューに答える
モリヨシ技研 代表取締役

今年が50回目のコラム。毎回、何を書こうか苦しみながら、よく続けられたと思う一方、同じ数だけ、締め切りを心配する広報担当者も困らせています。恐縮、恐縮。

さて、今回は車の話。

今年も防災訓練を実施し、電気自動車からの電力供給訓練を行いました。車の技術革新が、蓄電池としての役割を与えるようになっていくのです。

気候危機が進む中、ゼロカーボン(温室効果ガス排出実質ゼロ)を目指して、今後、電気自動車や水素自動車への転換が急速に進んでいくでしょう。市では、更新する公用車は原則、電気自動車等とするとともに、あらかじめクリーンセンターのごみ発電を活用して、エネルギーの地産地消を徹底します。併せて、電気自動車などのバッテリーは、災害対策やイベントに幅広く活用する方針です。

もう一つの大きな技術革新は、自動運転です。部分的な実用化まであと一步のところに来ています。無人運転が可能になったら、もはやお抱え運転手付きの

We Love♥
ふくしま!

第50回
「未来の車」

車と同じ。社会は大きく変わります。

例えば、高齢者の足の確保。各地域に共有の車を配備し、高齢者が呼び出せば、自動的に車が迎えに行き、目的地まで運んでくれるでしょう。

また、自動車通勤の人は、職場近くに駐車場を借りています。が、無人運転が導入されれば、自宅に帰しても、離れた場所に移して駐車してもいい。使うときに呼び戻せばいいのです。中心市街地の駐車場は、住宅や店舗などに変わっていくかもしれません。

いずれ空飛ぶ車も実用化されるでしょう。あまり先走り過ぎるはいけません。しっかりと将来を予測して対応策やまちづくりを進めることで、お金を効果的に使い、進歩的なまちにしていきたいものです。

もっとも、私にとって今一番欲しいものは、考えたことがすぐ文章になるソフト。早く苦しみから解放されたい!



福島市長 木幡 浩

⑦



臨時災害
ラジオ放送

万一災害が発生した場合、市では、FMポコ(76.2MHz)を「臨時災害ラジオ放送局」として、避難所やライフラインなどに関する緊急情報をお知らせします。●問／危機管理室☎525-3793